

PR-MW-SC51 自動両面原稿送り装置の 機内ローラー清掃手順について

鉛筆原稿のスキャン利用等で、汚れや紙詰まりが発生した場合の清掃方法について説明致します。尚、鉛筆原稿をご使用の場合、鉛筆硬度は 2B～H を推奨します。

《対象機種》

A3 スキャナユニット（型番：PR-MW-SC51）

《概要》

自動両面原稿送り装置（DADF）機内のローラーの汚れにより、原稿汚れが発生した場合の清掃方法について説明します。機内のローラー部が汚れていると、スキャンやコピー時に原稿汚れの発生や紙詰まりの原因になります。いつもきれいなスキャン、コピーをするために、本手順書を参考にして清掃を実施して下さい。

《注意事項》

- ・ローラー部は水で濡らして固く絞った柔らかい布で清掃します。
- ・清掃に使用する布は水滴が落ちない程度に固く絞ってご使用下さい。内部に水滴が落ちると、誤動作を起こす場合があります。
- ・清掃後は乾いた布で水分をよく拭き取って下さい。ローラー、さばき部材に水分が残っていると、重送や給紙ミスが発生する場合があります。乾くまで放置して下さい。
- ・本手順書の汚れサンプルを参照頂き、該当箇所は入念に清掃を実施して下さい。

《自動原稿送り装置ローラー部の清掃手順》

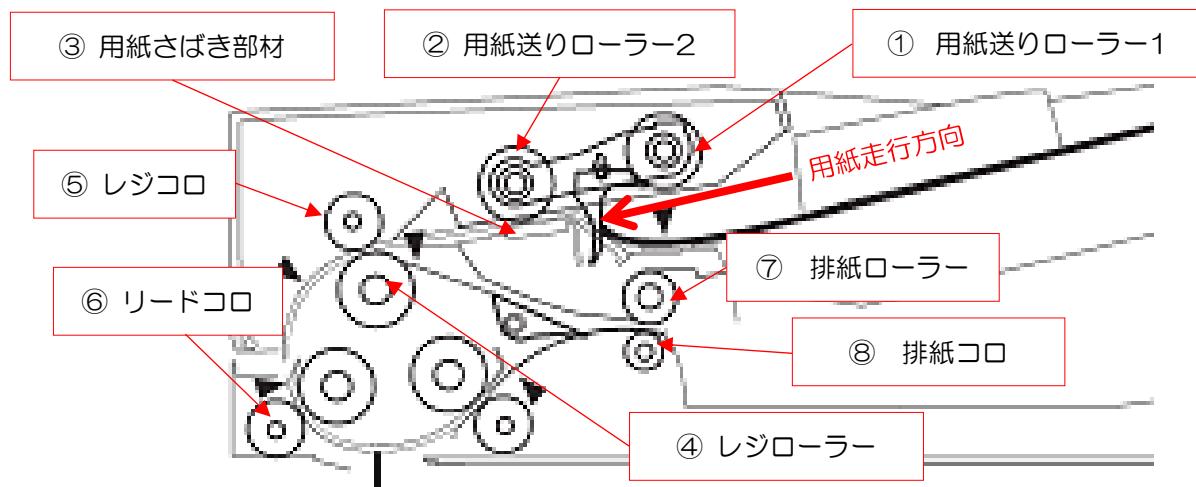
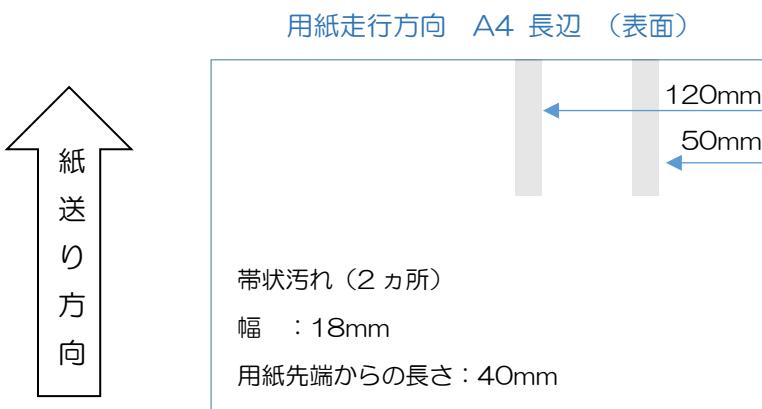


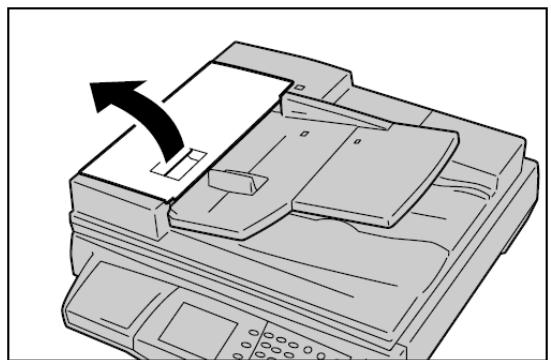
図 1 自動両面原稿送り装置 断面図（PR-MW-SC51）

■ローラ清掃手順 ①

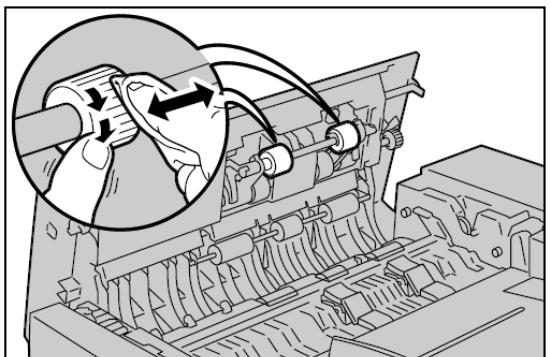
原稿に下図の帯状の汚れが確認された場合は、以降の手順で清掃をお願い致します。



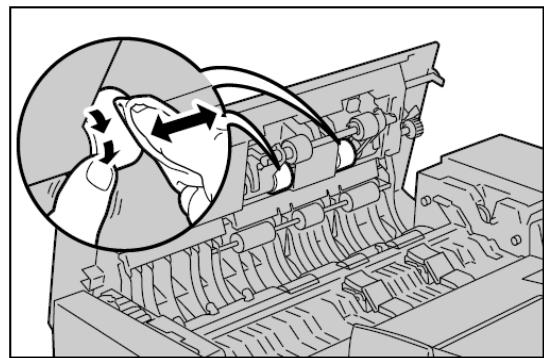
- 1) 自動両面原稿送り装置のカバーを引き上げて止まるところまで開きます。
カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーはゆっくりと開けて下さい。



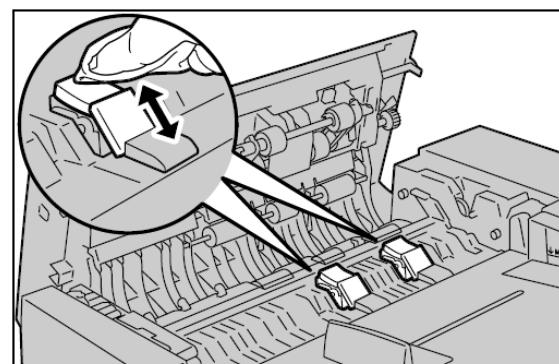
- 2) 用紙送りローラー1【図 1-①】を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



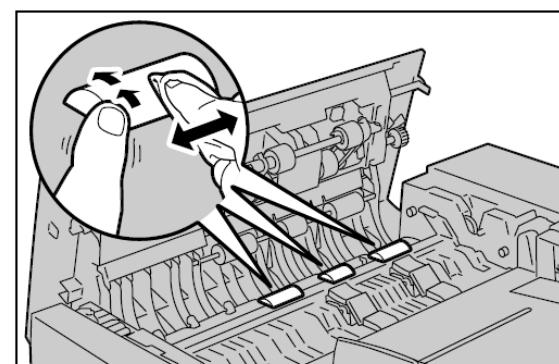
3) 用紙送りローラー2【図 1-②】を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



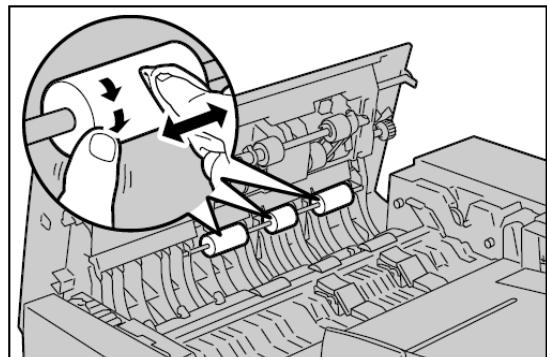
4) 用紙さばき部材【図 1-③】の表面を図の矢印方向に清掃します。



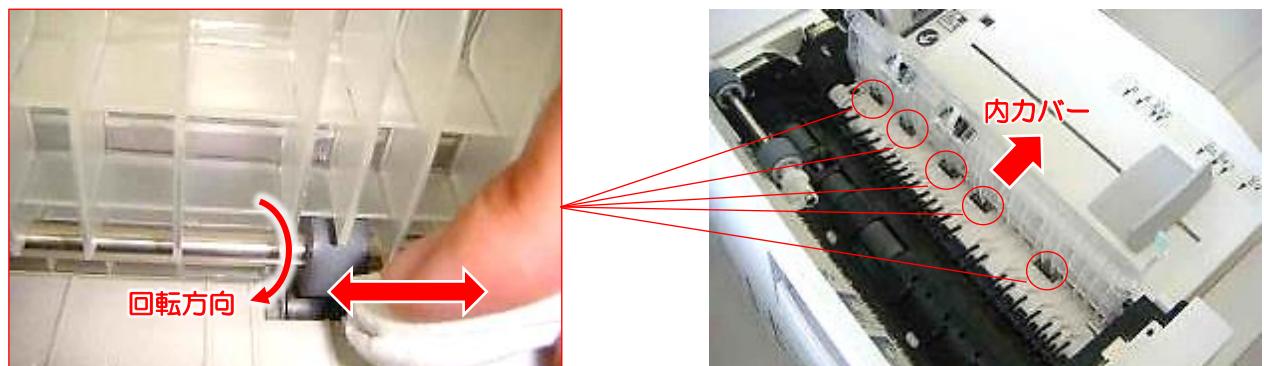
5) レジローラー（3カ所）【図 1-④】を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



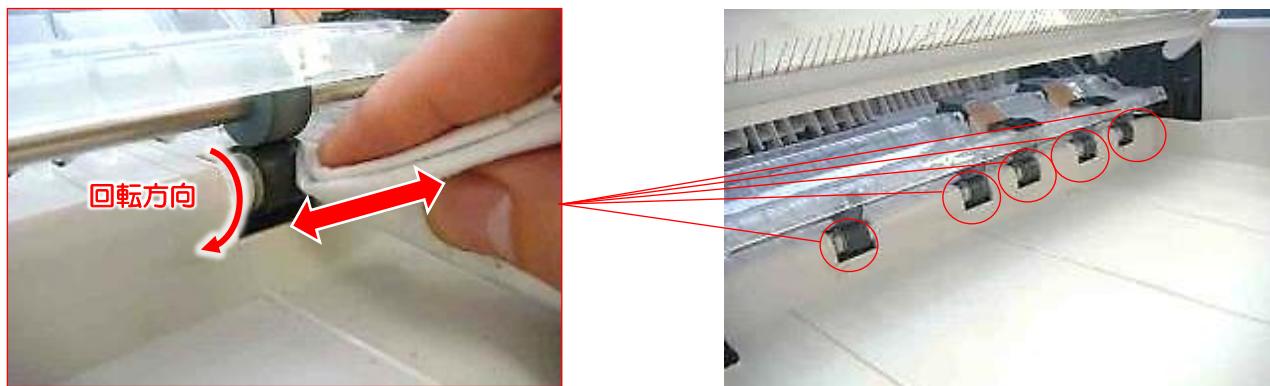
- 6) レジローラーの対向側に存在する。レジコロ（3カ所）【図 1-⑤】を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



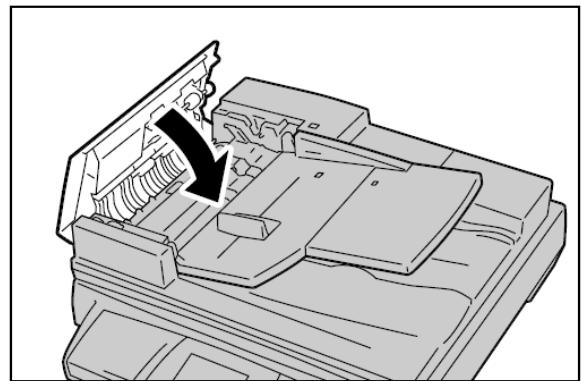
- 7) 内カバー開いた状態で、排紙ローラー（5カ所）【図 1-⑦】手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



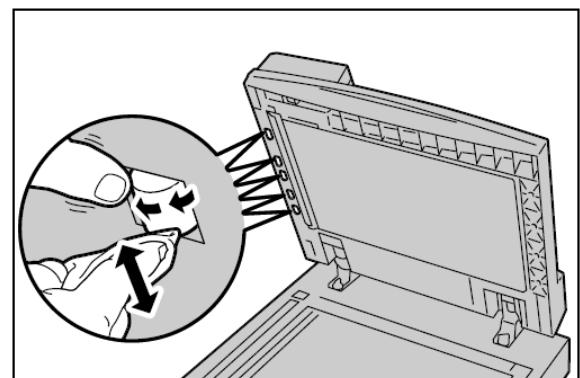
- 8) 給紙トレイを開いた状態で、排紙コロ（5カ所）【図 1-⑧】を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



9) 清掃終了後はカバーを「カチッ」と音がするまで閉じます。



10) リードコロ (5 カ所) 【図 1-⑥】を手で回しながら、図の矢印方向に清掃します。



以上で終了です。

この方法で原稿汚れが解消しない場合は、次のローラー清掃手順 ②を行ってください。

■ローラー清掃手順 ②

ローラー清掃手順 ①を実施しても、原稿に図 2 のような帯状（10mm 幅）の汚れが発生した場合は、白紙を用いてクリーニングを行います。

<方法> 10枚程度の白紙を準備し、自動両面原稿送り装置の給紙トレイよりスキャンします。スキャンして、ローラー汚れ跡が消えるかどうか確認して下さい。ローラー汚れ跡が消えるまで繰り返し行います。

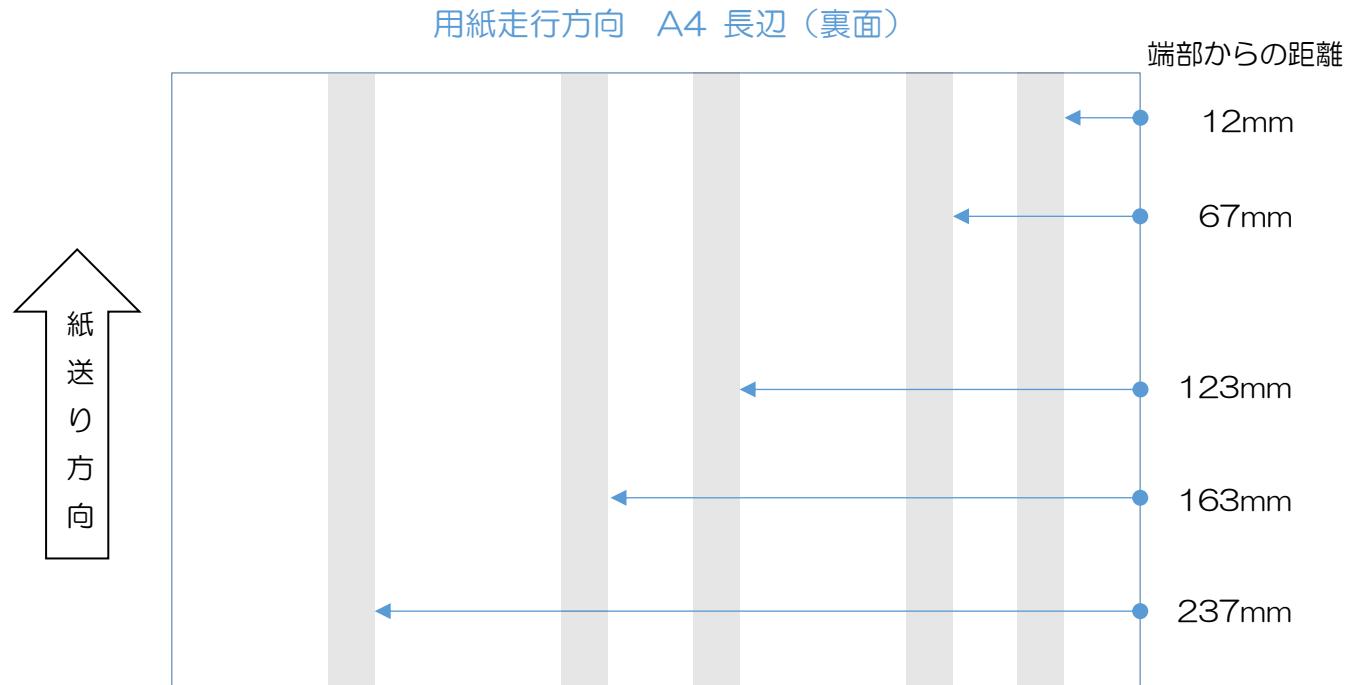


図 2 スキャン印刷物の印字汚れ事例

以上